

## 平成26年門真市教育委員会第4回定例会

開催日時 平成26年4月28日（金） 午後2時

開催場所 本館2階 大会議室

### 議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 承認第3号 臨時代理による事務処理の承認について  
(平成25年度教育費等補正予算の見積り申出について)
- 日程第4 承認第4号 臨時代理による事務処理の承認について  
(平成26年度門真市少人数学級編成の実施に係る任期付市費負担教員の任用について) について
- 日程第5 議案第23号 門真市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について
- 日程第6 議案第24号 門真市立義務教育諸学校教科用図書選定に伴う諮問について
- 日程第7 議案第25号 平成26年度大阪府中学生学びチャレンジ事業費にかかるチャレンジテストへの参加について
- 日程第8 諸報告

### 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第8まで

### 出席委員

|     |       |
|-----|-------|
| 委員長 | 長澤 信之 |
| 委員  | 磯和 均  |
| 教育長 | 三宅 奎介 |

### 事務局出席職員

|         |        |
|---------|--------|
| 学校教育部長  | 藤井 良一  |
| 生涯学習部長  | 柴田 昌彦  |
| こども未来部長 | 河合 敏和  |
| 学校教育部次長 | 山口 勘治郎 |
| 生涯学習部次長 | 山田 益夫  |

|                          |        |
|--------------------------|--------|
| こども未来部次長                 | 大矢 宏幸  |
| 学校教育部総括参事                | 満永 誠一  |
| 学校教育部教育総務課長              | 西岡 慈敏  |
| 学校教育部学校教育課長              | 上甲 尚   |
| 学校教育部学校教育課参事             | 成田 明子  |
| 学校教育部学校教育課参事<br>兼教育センター長 | 岩佐 美奈子 |
| 生涯学習部生涯学習課長              | 牧菌 友広  |
| 生涯学習部スポーツ振興課長            | 丹路 保浩  |
| 生涯学習部図書館長                | 西中 敏美  |
| こども未来部こども政策課長            | 山 敬史   |
| こども未来部こども政策課参事           | 森 房子   |
| こども未来部子育て支援課長            | 三宅 聖子  |
| こども未来部保育幼稚園課長            | 森田 邦裕  |
| こども未来部<br>こども発達支援センター長   | 宮下 勝仁  |

長澤委員長                      開会宣告      午後2時  
 (藤原定壽委員長職務代理者及び桜井智恵子委員が欠席であるが、  
 構成員の過半数以上が出席しているため会議成立)

日程第1                              会議録署名委員の指名  
  
                                          長澤委員長より 磯和 均 委員を指名

日程第2                              会期の決定  
  
                                          本日1日と決定

日程第3                              承認第3号 臨時代理による事務処理の承認について  
                                          (平成25年度教育費等補正予算の見積り申出について)  
                                          て)  
                                          説明者 西岡教育総務課長

本件は、平成25年度一般会計補正予算において、平成26年3月31日付けで専決補正を行ったものであります。

議案書2ページの平成25年度教育費等補正予算見積書をご覧ください。

まず、歳入といたしまして、総務費寄附金 文化芸術振興寄附金として26万円、教育費寄附金 教育振興基金寄附金として282万7千円をそれぞれ収入するものとし、次に、財産運用収入といたしまして、文化芸術振興基金利子36万7千円と教育振興基金利子2千円の計36万9千円をそれぞれ収入するものであります。

次に、歳出といたしましては、文化芸術振興寄附金と文化芸術振興基金利子の合計額62万8千円を文化芸術振興基金に、また、教育振興基金寄附金と教育振興基金利子の合計額283万円を教育振興基金にそれぞれ積み立てるものであります。

[全委員異議なく、承認]

#### 日程第4

承認第4号 臨時代理による事務処理の承認について  
(平成26年度門真市少人数学級編成の実施に係る任期付市費負担教員の任用について) について  
説明者 成田学校教育課参事

議案書4ページをご覧ください。

平成26年度門真市少人数学級編成の実施に係る任期付市費負担教員の任用につきましては、教育委員会議の議決を得たうえですべきところではありますが、緊急やむなく教育長が本事務を臨時に代理いたしました関係上、承認案件として上程し、ご承認をお願いいたします。

議案書5ページをご覧ください。

平成26年度配置校、配置教員は一覧のとおり、小学校は大和田小学校、四宮小学校、古川橋小学校、速見小学校、脇田小学校、北巢本小学校、東小学校、門真みらい小学校の8校、中学校は第二中学校、第四中学校の2校でございます。

小学校におきまして、担任として4名、担任外として4名配置し、中学校におきましては副担任として2名配置しております。

長澤委員長： その中で本市の小中学校の卒業生は何人いますか。

上甲学校教育課長： 現在1名でございます。

[全委員異議なく、承認]

#### 日程第5

議案第23号 門真市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について

長澤委員長より、本件は、教科用図書が採択されるまで秘匿にする必要があるので、秘密会にて審議したいとのこと、各委員に諮ったところ、全委員異議なく、了承、秘密会にて審議された。

[教育長室へ移動 秘密会]

秘密会出席者 全委員、藤井学校教育部長、柴田生涯学習部長、河合こども未来部長、西岡教育総務課長、岩佐教育センター長

時間 2時10分から2時15分まで

[審議の結果 原案のとおり可決]

[議事録 省略]

[会議再開 大会議室]

#### 日程第6

議案第24号 門真市立義務教育諸学校教科用図書選定に伴う諮問について

説明者 岩佐教育センター長

議案書8ページからをご覧ください。

本議案は、平成27年度小学校使用門真市立義務教育諸学校教科用図書の採択にあたり、門真市附属機関に関する条例第2条に基

づき、校長、保護者代表、市の代表で構成された門真市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に対して、「平成27年度使用小学校教科用図書の適正な選定について」諮問を行うものでございます。

今後の予定につきましては、教科用図書選定委員会において、教科用図書の調査研究、選定作業を進め、7月の教育委員会会議において、ご採択をいただきたいと考えております。

[全委員異議なく、可決]

## 日程第7

議案第25号 平成26年度大阪府中学生学びチャレンジ事業費にかかるチャレンジテストへの参加について

説明者 上甲学校教育課長

本議案につきましては、大阪府中学生学びチャレンジ事業費にかかるチャレンジテストの実施にあたり、教育委員会の議決をお願いするものでございます。

議案書11ページの「平成26年度大阪府中学生学びチャレンジ事業費にかかるチャレンジテスト実施要領」をご覧ください。

本調査の目的は、府内の生徒の学力を把握・分析し、教育委員会及び学校が課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のための PDCA サイクルを確立することと示されております。

また、大阪府教育委員会が、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性を担保する方策である「評定の範囲」の作成について検証することも目的の一つとして示されています。

調査実施日は平成27年1月14日（水）、調査の対象は中学校第1学年及び第2学年の全生徒となっており、調査内容は第1学年では国語・数学及び英語、第2学年では国語、社会、数学、理科及び英語の各教科の調査、生徒に対するアンケートとなっております。

調査結果の取扱い、結果の公表につきましては、13ページの7の（4）をご覧ください。順に読み上げます。①大阪府教育委員会

は、大阪府全体の状況及び市町村ごとの状況にかかる調査結果を公表する。②市町村教育委員会は域内の状況にかかる調査結果の公表につとめること。

また、各学校の調査結果について、それぞれの判断において公表することは可能であること。この場合、個々の学校名を明らかにした公表を行うことについては、その教育上の影響等を踏まえ、必要性について慎重に判断すること。③学校は、保護者等に自校等の結果について、教育上の効果や影響等を考慮した上で、公表することは可能であることとなっております。

調査結果の公表に関しましては、(5)にあるとおり、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり学校における教育活動の一側面であることを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど、生徒等への影響を配慮することなどが記載されております。

また、調査結果について公表を行う場合は、当該学校と事前に相談すること、平均得点などの数値について、一覧で公表することや順位を付した公表などは行わないことについても記載されております。

続いて、本調査の目的の一つである、評定の公平性を担保する方策としての「評定の範囲」の作成につきまして、15ページの9(1)をご覧ください。

作成方法としましては、調査対象校より一定数の学校を抽出し、抽出校から個々の生徒の平成26年度の1学期と2学期を通じた学習状況から推定される成績を仮評定として大阪府教育委員会へ提供します。

大阪府教育委員会は、提供された仮評定と調査結果を統計的手法に基づいて分析し、評定の範囲を作成し、市町村教育委員会へ提供するとともに、その作成について検証します。市町村教育委員会は、提供された評定の範囲を各学校へ示し、各学校とともに評価活動の改善と充実を図ることとなっております。

教育委員会事務局といたしましては、全国学力・学習状況調査結果と併せて中学生の学力向上や教育施策の充実を図るために、また今後府立高校入学者選抜における調査書に目標準拠評価が導入されることを鑑みて、適切な評価活動を各校で実施していくためにも、本調査へ参加することを考えております。

なお、門真市としての結果公表のあり方については、参加の議決を得られましたら、今後、お諮りする予定でございます。

磯和委員： 今までの全国学力・学習状況調査と同じように学力を相対的に測るということは分かりますが、もう一つ大きな目的である評定の範囲を示すための資料にするということの説明を詳しくお願いします。

上甲学校教育課長： 評定の範囲がどうなるかということについては現段階では、まだ具体的に示されておりませんが、昨年度大阪府教育委員会からイメージとして示されたものでは、抽出した学校の各生徒の仮の評定と得点を照らし合わせて、統計的に分析します。

例えばチャレンジテストで70点取ったとするとその得点を取った生徒は評定でどの範囲に収まっているのかということ进行分析し、一定の評定の範囲として示すと聞いております。

今年度は、評定の範囲の作成について検証するという事になっていきますので、今後この実施を踏まえて、来年度以降その内容が具体的に示されるものと考えております。

磯和委員： 定数の学校を抽出し、その結果を市町村教育委員会で検討するという事ですから、門真市の中学校の何校かは必ず選ばれると考えてよろしいですか。

上甲学校教育課長： 具体的に抽出校については、大阪府教育委員会からの提示はありませんが、門真市の何校かの学校は抽出されると考えております。

磯和委員： 早ければ平成28年度から大阪府立高校の入学試験で目標準拠評価が導入され、評定の範囲を生かして入学試験の資料とするということですが、どう評定の範囲を生かしますか。

上甲学校教育課長： 評定の範囲がどのようなもので、どのような形で門真市教育委員会並びに学校に提供されるかは未定でございますので、不明な点もございますが、各中学校の評価が公平性や妥当性が担保されたものになるように、提供された資料を適切に活用したいと考えております。

磯和委員： 中学校1年生で3教科、2年生で5教科という非常に大きな負担になると思います。マスコミ報道では、チャレンジテスト自体が高校へ入学するための試験になっていくという話題が出ていると聞いています。現場である学校や生徒にとって大変な負担になると思いますが、それについてはどう考えていますか。

上甲学校教育課長： チャレンジテストの実施学年は中学校1年生、2年生で、全国学力・学習状況調査は中学校3年生が対象になっておりますので、各学年年間1回ずつまでということになります。

チャレンジテストが今後継続的に実施されることになりましたら、3年生の全国学力・学習状況調査だけではなく、1、2年生の学力調査の結果も得られますので、中学校3年間の推移の確認や学校全体の学力向上の取組の施策検証などコストに見合うだけの効果的な活用が可能ではないかと考えております。

長澤委員長： 公平性を担保するあまり門真市の生徒にとっては不利益になることを危惧しています。

そのため、的確な情報を提供して下さい。また、学校に対しても情報提供が必要だと思います。

[全委員異議なく、可決]

## 日程第8

### 諸報告

長澤委員長より、諸報告については報告をした後、質疑応答となる旨説明があった。

番号1 平成26年度門真市一般会計当初予算について  
説明者 藤井学校教育部長

教育費等当初予算につきましては、平成26年門真市教育委員会第2回定例会に上程させていただきました議案第9号 平成26



年度教育費等当初予算の見積り申出について、学校教育部、生涯学習部につきましては、ご説明を申しあげましたので省略させていただき、今回は、26年4月1日付け機構改革により新たに教育委員会事務局に設置されたこども未来部の当初予算の概要と平成26年度門真市一般会計当初予算の主な概要についてのみ、ご報告を申し上げます。

まず、こども未来部の当初予算の主な概要についてであります。諸報告資料の4ページをご覧ください。

児童福祉費からであります。

児童福祉総務費では、主に「放課後児童クラブ運営事業」、「家庭児童相談事業」、「ひとり親自立支援事業」などの事業費となっております。

児童措置費では、主に「児童手当支給事業」、「民間保育所入所委託事務」、「民間保育所運営補助事業」などの支給事業費となっております。

保育園費では、公立保育所運営事業、児童通園施設費では、旧さつき園・くすのき園管理事業、こども発達支援センター運営事業、こども医療助成費では、こども医療助成事業が主な事業費となっております。

次に、社会福祉費であります。

社会福祉総務費では、子ども・子育て支援事業計画策定事業、ひとり親家庭医療助成費では、ひとり親家庭医療助成事業が主な事業費となっております。

次に、保健衛生費であります。

保健衛生総務費では、主に未熟児養育医療給付事業の事業となっております。

次に、幼稚園費であります。

幼稚園管理費では、26年度から公立幼稚園を再構築することから、新たな公立幼稚園運営事業を実施するとともに、幼稚園施設整備事業といたしまして、大和田幼稚園耐震診断及び浜町幼稚園の撤去工事などが主な内容となっております。

こども未来部の予算額につきましては、総額が77億2,582万円であり、教育委員会事務局全体予算の約67%となっており、子ども子育て施策を行うに当たり、非常に重要な位置づけとなっております。

以上がこども未来部の当初予算の主な概要であります。

次に、平成26年度門真市一般会計当初予算の主な概要についてであります。

諸報告資料の1ページをご覧ください。

平成26年度一般会計予算編成全般につきましては、「第5次総合計画」に示す将来都市像である「人・まち“元気”体感都市門真」の実現に向けて、自律発展都市の形成により市民の幸福度の向上を図るため、引き続き、まちづくり・産業振興・教育の向上に重点を置くとともに、「子ども」「女性」「コンパクトシティ」をキーワードとした施策を、限られた財源の中で、選択と集中による事業のスクラップ・アンド・ビルドの推進により、効率的に行える予算編成となっております。

まず、一般会計予算の総額であります。531億1,000万円で前年度から額にして400万円の減となっております。

次に、主な歳出では議会費は4億2,318万円で対前年度比1.8%減となっております。

次に、総務費では43億6,131万5千円で対前年比24.1%減となっております。これは、まちづくり整備基金積立金及び退職手当の減等によるものでございます。

次に、民生費では、278億7,984万7千円で対前年度比2.7%増となっております。主な原因としましては、妊婦健診公費負担の拡充、臨時福祉子育て世帯特例給付金給付事業等の増によるものでございます。

なお、先ほど、報告いたしました、こども未来部の予算に関しましては、主にこの民生費の中に含まれております。

次に、衛生費では、33億1,267万9千円で対前年費3.1%増となっております。主な原因は、保健福祉センター中央監視設備更新工事等の増によるものでございます。

次に、農林水産業費では、3,603万1千円で対前年費13.4%増となっております。

次に、商工費では、1億2,324万3千円で対前年費23.1%増となっております。主な原因は、新規ビジネス創出支援事業等の増によるものであります。

次に、土木費では58億5,142万9千円で対前年度比5.7%の増となっております。主な原因は、道路及び河川・水路整備工事、公共下水道事業特別会計繰出金等によるものであります。

次に、消防費では、17億1,709万9千円で対前年度比5.6%減と

なっております。これは、守口市門真市消防組合負担金等の減によるものであります。

次に、教育費では、36億2,769万2千円で対前年度3%増となっておりますが、これは、主に今年度から開始いたします「きめ細かな指導を実現する35人学級事業」、市民プラザ外壁改修工事等によるものであります。

主な新規事業では、学校教育部としては、先ほど申しました「きめ細かな指導を実現する35人学級事業」、「豊かな人間性をはぐくむ取組推進事業」、「沖小学校大規模改造の実施設計」、「第五中学校の大規模改造工事」、「第三、第四中学校給食棟の建替工事に向けた実施設計」など「教育力の向上」や「施設の環境整備」に力点をおいた予算編成となっております。

生涯学習部としては、「第2次子ども読書活動推進計画策定事業」、市民総合体育大会に変わる「(仮称)スポーツレクリエーション大会」事業などの新規事業をはじめ、市民との公民協働を一層促進させるための予算編成となっております。

次に、公債費では、57億2,748万5千円で対前年度比4%増となっております。これは、借換債及び退職手当債の償還金の増によるものであります。

次に、主な歳入では、市税が177億8,846万4千円で対前年度1.9%増、地方交付税が66億3,000万円で対前年度4.8%減、国庫支出金が144億9,991万6千円で対前年度7%増、府支出金は36億9,785万9千円で対前年度比9.8%増、諸収入が6億2,808万1千円で対前年比61.7%減となっております。

以上、平成26年度における本市の財政運営が引き続き「教育の向上」を筆頭に「まちづくり」「産業振興」の3本柱に重点をおいた予算編成になっており、教育にかかる期待の大きさとともに、その責務の重要性を痛感しているところであります。

私たち、教育委員会事務局職員にとりましては、教育予算を効率的に運用し、市民の信託に応えるべき職員一丸となって教育の向上にむけ、緊張感をもって今後も執行してまいる覚悟でございます。

番号2 平成25年度門真市一般会計繰越明許費繰越計算書について

説明者 西岡教育総務課長

諸報告資料 6 ページをお願いいたします。

本件は、平成25年度門真市一般会計繰越明許費につきまして、繰越計算書を調製したのでご報告するものでございます。

まず、小学校費、五月田小学校校舎大規模改造事業につきまして、7億890万7千円を繰り越したものでございます。財源内訳といたしましては、未収入特定財源として、国府支出金6,643万4千円、地方債6億4,240万円と、一般財源7万3千円であります。

次に、中学校費、第五中学校校舎等大規模改造及び給食棟建替事業につきまして、14億2,282万7千円を繰り越したものでございます。財源内訳といたしましては、未収入特定財源として、国府支出金1億3,545万円、地方債11億1,920万円と、一般財源1億6,817万7千円であります。

次に、第七中学校給食棟建替事業につきまして、3億9,763万2千円を繰り越したものであります。財源内訳といたしましては、未収入特定財源として、国府支出金1,376万円、地方債2億1,520万円と、一般財源1億6,867万2千円であります。

次に、保健体育費、(仮称)市立総合体育館建設事業につきまして、3,952万8千円を繰り越したものであります。財源内訳といたしましては、未収入特定財源として、国府支出金1,976万4千円、地方債1,970万円と、一般財源6万4千円であります。

—すべての報告が終了—

磯和委員： 教育総務費から保健体育費までは昨年度と比較ができるのですが、児童福祉費からは昨年度が0になっていて比較することができないので、新規事業や特に拡充された事業を教えてください。

大矢こども未来部次長： 諸報告資料 4 ページの児童福祉費をご覧ください。

ほとんどが経年的に実施している事業ですが、児童総務福祉費では、5つ目の認可保育施設移行支援事業345万6千円は新規事業でございます。現在もこども・子育て会議で議論を進めておりますが、現在の認可外保育園が認可移行する際に移行支援を行うもの

です。国庫補助等も活用し、26年度の新規事業としております。それ以外は大きく変化はございません。

児童措置費では、認可外保育施設利用者補助事業1,533万円が拡充事業です。25年度から開始した2年目の事業ですけれども、現在の待機児童の早期解消を踏まえて、25年度におきましては認可外保育を利用した際の通常の認可施設との差額の1/2を補助していました。26年度はその差額の全額を補助することになりましたので、予算額も昨年度と比較し2倍になっております。

保育園費につきましては、例年と大きく変化はございません。

児童通園施設費では、旧さつき園・くすのき園管理事業1億1,479万6千円は25年度まで利用していたさつき園くすのき園の除却費用でございます。予算的には今年度から市民プラザ内に移転しましたので、基本的には大きな変化はございません。

それ以下についてですが、幼稚園管理費も基本的には大きな変化はございません。5ページの最後、幼稚園施設整備事業4,613万3千円につきましては26年度旧浜町幼稚園除却のための予算を計上しております。以上でございます。

長澤委員長： 事務的な手続きの確認ですが、予算要求は民生費についても今後教育委員会に議案として提出されますよね。

大矢こども未来部次長： 教育委員会にお諮りしてから予算要求しようと考えております。

長澤委員長                      閉会宣言      午後2時50分

門真市教育委員会会議規則第25条の規定により署名する。

門真市教育委員会

委員長 長澤 信之

署名委員 磯和 均